

10がっひかりごう

令和 7 年10月1日 輝 保 育 園

日中は暑いですが、朝夕涼しさを感じられる日も少しずつ出てきています。気温や湿度をみながら、戸外で遊べる日には、外遊びを楽しんでいます。どのクラスからも、「お外、行きたい。」「今日は外で遊べる? 」という声がきこえてきます。「今日は、暑いから行けないよ。」と伝え、残念そうな表情です。戸外活動できる日には、十分に楽しんでいきたいと考えています。季節の変わり目で、体調を崩しやすい時期になるので、気を付けて過ごしていきましょう。

★ 運動会 ★

10月25日（土）に運動会を予定しています。子ども達は本番に向けて、頑張っています。ご家庭でも、十分に休息をとっていただき、励ましの声をかけていただきますようお願いいたします。



☆ さつまいもの日 ☆

埼玉県川越市のサツマイモ愛好者の集まりである「川越いも友の会」が制定しました。10月はサツマイモの旬であり、江戸から川越までの距離が約13里あったことからサツマイモが「栗（九里）より（四里）うまい十三里」と言われていたことが由来となっています。保育室からもやきいもグーチーパーの歌が聞こえてくるでしょう。



【 10月の行事予定 】

3日（金）	避難訓練
14日（火）	運動会リハーサル
16日（木）	お楽しみ会
20日（月）	歯科検診
24日（金）	身体測定、誕生会
25日（土）	運動会
28日（火）	避難訓練（突風）



=== ナース・レポート ===

【インフルエンザ流行期に入りました】

福岡県では、早くもインフルエンザの感染者数が急増しています。県の発表によると、9月14日までの1週間で、前週の約2倍に増加し、「流行期入り」が宣言されました。

また、「リンゴ病」（伝染性紅斑）の報告数は前週より減少していますが、18週連続で警報レベルが続いています。どちらも感染経路は「飛沫感染」です。手洗いの徹底、マスクの着用、定期的な換気など、基本の感染対策を心がけましょう。

発熱などの症状がある場合は早めに医療機関を受診し、無理せず休養をとることも大切です。

感染症に負けず、元気に秋を過ごしましょう。



《《《 お 願 い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認をして下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起きをし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 家庭 生活 ☆☆

～ 手本となる大人の姿 ～

- 大人が、子どもの手本になっていることを意識しましょう

子どもの行動や言葉遣いに注目してください。意外に日常的に接している大人の行動や言葉遣いに似ていることに気付きます。

子どもは、身近な大人を手本にし、その言動を当たり前のこととして見、自然のうちに学んでいます。

つまり、大人の立ち振る舞いの積み重ねが子どもの言動に影響を与えるのです。

社会ルールやモラルに即したものであれば、それはほほえましいことですが、社会ルールやモラルに反することであれば、影響を受けた子どもがやがて大人となった時、当たり前のように次の世代に連鎖していき、社会全般の規範意識が低下していきます。

「子どもたちに社会ルールやモラルを守って生活してほしい」子どもに関わる大人であれば、誰もが思うことです。

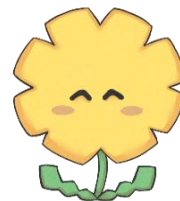
しかし、その思いとは裏腹に、「これぐらいは…」、「自分さえ良ければ」、「見て見ぬふり」などといった、子どもの良い手本になっているとは言えない大人の姿が多く見られるのも事実です。

まずは、大人が意識や言動を変えていき、子どもに良い手本を示す必要があります。

「教育力向上福岡県民運動ホームページ」より抜粋

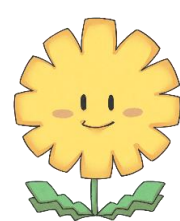
こどもようす

たんぽぽぐみ
0才児



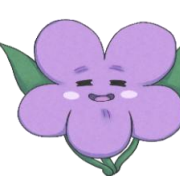
歩く事を楽しみ、自分の意思で動けるようになると自発的で主体的な探索活動が増え、好奇心が深まります。自立歩行を獲得すると「何でも自分でやりたい。」と意欲が出てきて、喜怒哀楽などの様々な感情が育っていきます。言葉で気持ちを伝えることはまだ難しくうまく意思表示ができないもどかしから泣いたり、自分の思い通りにならず要求が伝わらないとその失望感から泣きわめいたりします。手足をバタバタさせダダをこねたり、かんしゃくを起こしたり、まさに自我の芽生えです。何がしたいのか気持ちを聞き出し言葉にしてあげ、行動を決めてしまわず選択肢をあたえ、子ども自身が決めることで納得することも多いです。自立するまでの成長過程なので共にやさしく見守っていきましょう。

たんぽぽぐみ
1才児



運動会に向けて少しずつ練習が始まりました。1才児クラスでは「練習」というよりも、遊びの中で自然に体を動かすことを大切にしています。園庭で保育者が「きをつけ、ぴっ! 」と声をかけると、その声に合わせて気をつけし、「よーい、どん! 」と声をかけると、ぱっと顔を上げて笑顔になり楽しそうに走り出す姿が見られます。まだ小さな体で一生懸命に動く姿や、お友だちの姿をじっと見て「ぼくも、わたしも」と真似をしようとする姿に日々の成長を感じています。運動会本番では、いつもと違う雰囲気泣いてしまったり立ち止まったりするかもしれませんが、いつも通りの姿を見せてくれればと思います。当日は温かく見守っていただき、大きな拍手をお願いします。

すみれぐみ
2才児



おしゃべりが上手になり、話す楽しさを覚え毎日にぎやかな声が響き渡っています。最近は「一緒に遊ぼう」と友だちと関わり遊ぶ姿が見られたり、「大丈夫? 」「どうしたの? 」と友だちを気にかける言葉がよく聞かれるようになりました。2歳児は人間関係の第一歩を踏み出す時期で、自分以外の他者に関心をもつようになります。また、友だちとの関わりの中で、ぶつかり合う経験を通し、自分とは違う思いがあることを感じるようになります。保育士が仲立ちとなり、譲り合いや順番を守ること、交代するなど簡単な決まりを守りながら、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを経験していきます。また、運動会に向けて生活の中で、行進の練習をしています。「今日、運動会? 」と運動会に参加することを楽しみにしている子どもたちです。どんな成長した姿を見せてくれるのか楽しみです。

ちゅうりっぷぐみ
3才児



朝夕、秋の気配を感じられるようになり、戸外では友だちと駆けまわったり、じゃんけんをして負けたら交代という自分たちのルールで遊んだりする子どもたち。集団遊びでは、友だちが遊ぶ様子を見て興味を持って加わる姿が増えてきました。そこで、みんなで楽しく遊ぶためにルールの大切さを話しています。ルールに加えて安全に遊ぶための約束も伝えることで、自分だけでなく友だちにも意識が向くようになり、一緒に遊ぶことの楽しさを感じているようです。10月も運動会に向けた活動に取り組んでいます。赤白並びでは、手をつなぐ相手や前後を見て並ぶことにもまだ時間がかかりますが、相手を探して手をつないだり、「ここよ」と並ぶ所を教えたりする様子もあります。パルーンでは音楽や合図に次第に動きが合っていると嬉しそうな表情もみられます。体を動かす楽しさ、みんなで一緒にすると楽しいという気持ちをもって参加できるように進めています。

ばらぐみ
4才児



運動会を控え「楽しみね! 」「ドキドキする…」など夫々の思いが垣間見えます。今年度ばら組の目標は「クラスみんなで力を合わせ、同じ目的に向かって頑張る楽しさを感じることに設定しました。遊戯には、個人としての頑張りだけでは達成できない内容を一部取り入れています。何度も失敗し心が折れかけたこともありましたが「先生、練習しよう! 」というこども達の前向きさに幾度となく励まされてきました。ある子が発した「成功したいね! 」の言葉が他の子どもたちの心をも包み、集中力が途切れる子はいても「辞めたい」という子は一人もいません。力を合わせる楽しさを心いっぱい感じられるよう進め、この経験をきっかけに年長児になる準備へと繋げていきます。全体練習も始まり体力を消耗します。引き続き体調管理にご協力をお願いいたします。

ひまわりぐみ
5才児



運動会ではプラカード、体操、約束、はじめの言葉、終わりの言葉、未就園児などそれぞれに係があります。年長児だからその役割なので、嬉しくもあり照れくさくもありますが、少人数で係を担当するので緊張もしています。全体練習が始まる前に5才児だけで練習をして緊張をほぐし、大勢の前で少しでも自信をもって出来るように取り組んでいます。5才児は出演種目が増えて覚えることがたくさんあり、難しいことにも挑戦するので、めげそうになる時もあります。そんな時は子ども同士で「大丈夫だよ」「もう一回やってみよう」と励まし合ったり、時には厳しく教え合ったりしながら一生懸命頑張っています。今までに築いた厚い信頼関係の中、みんなで取り組む満足感や充実感を味わい、やり遂げたことが自信や心の成長につながる運動会になるよう願っています。